

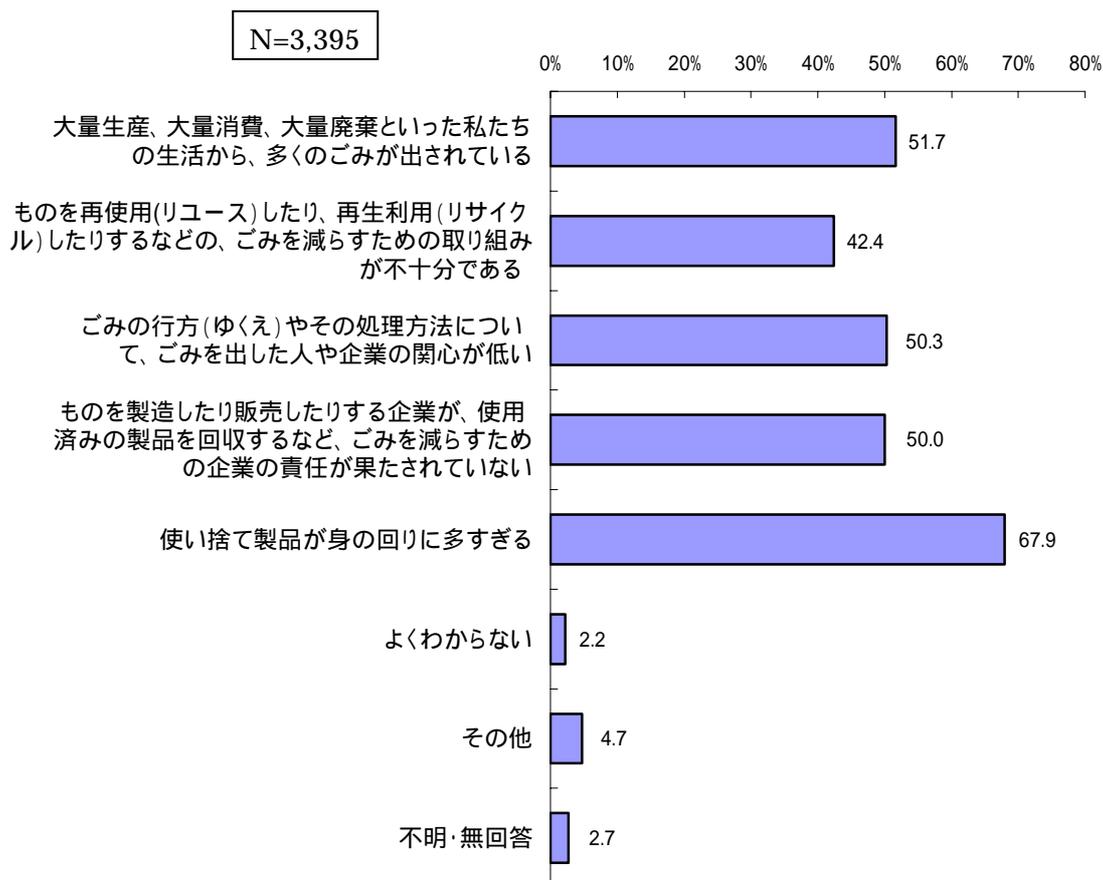
4. 循環型社会

(1) ごみへの認識

問 14 あなたはごみについてどのように思いますか。(はいいくつでも)

ごみについては「使い捨て製品が身の回りに多すぎる」が67.9%

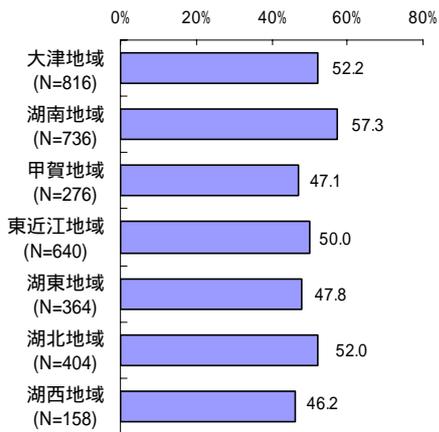
ごみについてどう思うかは、「使い捨て製品が身の回りに多すぎる」が最も多く67.9%、「大量生産、大量消費、大量廃棄といった私たちの生活から、多くのごみが出されている」が51.7%、「ごみの行方(ゆくえ)やその処理方法について、ごみを出した人や企業の関心が低い」が50.3%、「ものを製造したり販売したりする企業が、使用済みの製品を回収するなど、ごみを減らすための企業の責任が果たされていない」が50.0%と続き、いずれも5割を超えている。



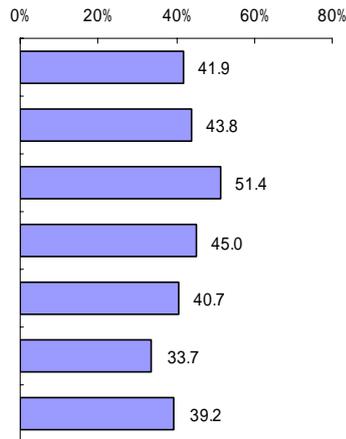
【地域別】

いずれの地域においても「使い捨て製品が身の回りに多すぎる」が最も高く6割を超えている。また、「ものを再利用(リユース)したり、再生利用(リサイクル)したりするなどの、ごみを減らすための取り組みが不十分である」では、湖北地域が33.7%と最も低くなっている。その他、「大量生産、大量消費、大量廃棄といった私たちの生活から、多くのごみが出されている」、「ごみの行方(ゆくえ)やその処理方法について、ごみを出した人や企業の関心が低い」、「ものを製造したり販売したりする企業が、使用済みの製品を回収するなど、ごみを減らすための企業の責任が果たされていない」がいずれも各地域で5割前後となっている。

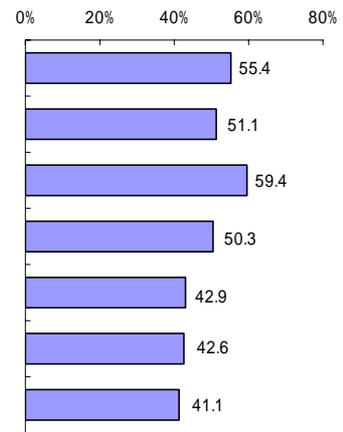
大量生産、大量消費、大量廃棄と
いった私たちの生活から、多くのごみ
が出されている



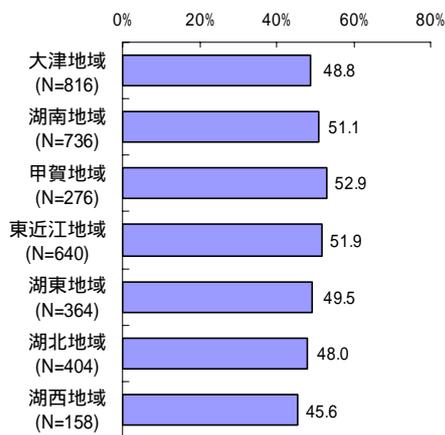
ものを再使用(リユース)したり、
再生利用(リサイクル)したりす
るなどの、ごみを減らすための
取り組みが不十分である



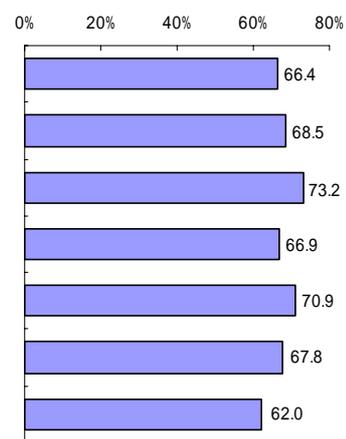
ごみの行方(ゆくえ)やその
処理方法について、ごみを出した人
や企業の関心が低い



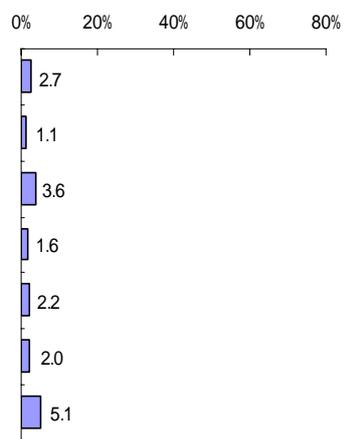
ものを製造したり販売したりする企業
が、使用済みの製品を回収するなど、
ごみを減らすための企業の責任が果
たされていない



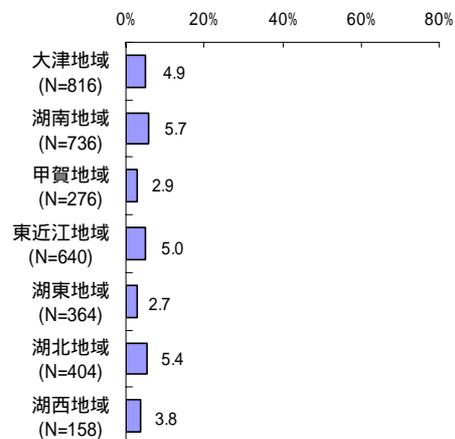
使い捨て製品が身の回りに
多すぎる



よくわからない

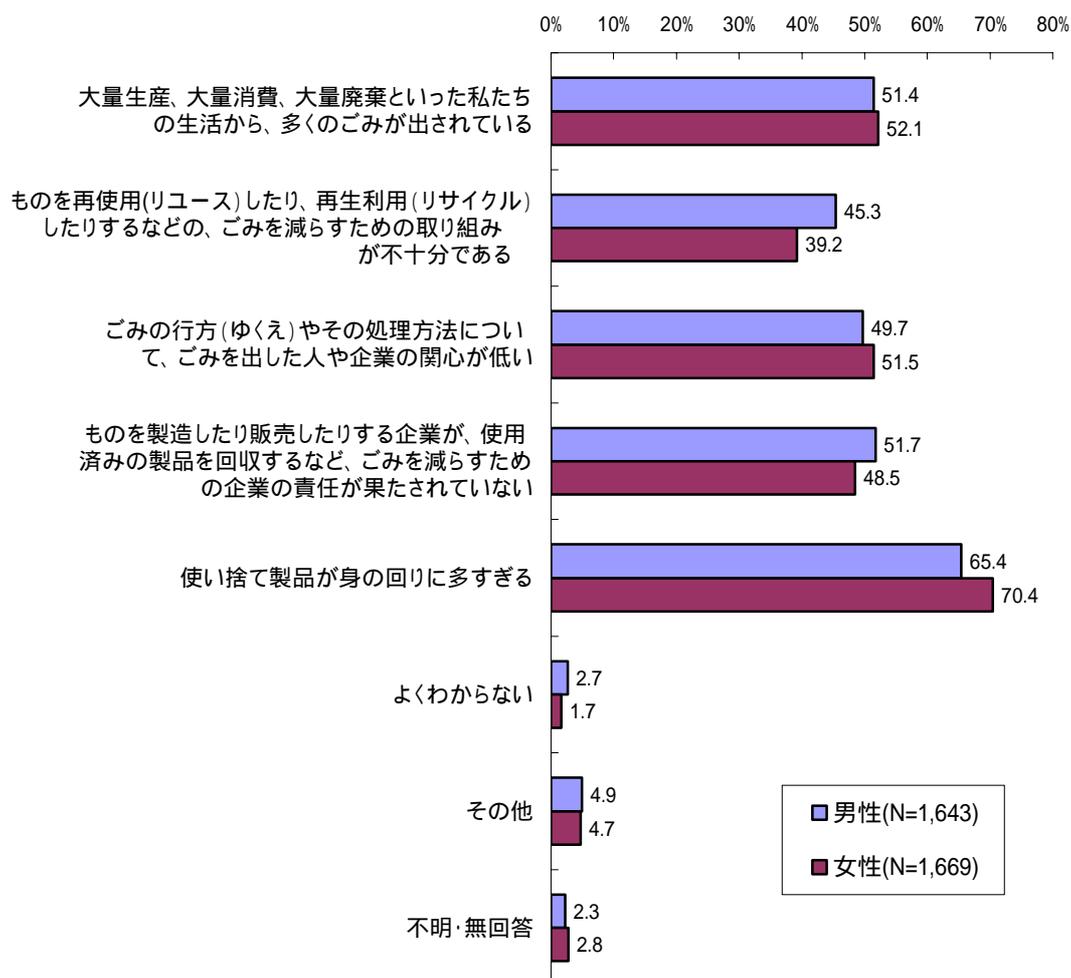


その他



【性別】

男女ともに「使い捨て製品が身の回りに多すぎる」が最も多く、女性（70.4%）のほうが男性（65.4%）に比べ5.0ポイント高くなっている。



【性・年代別】

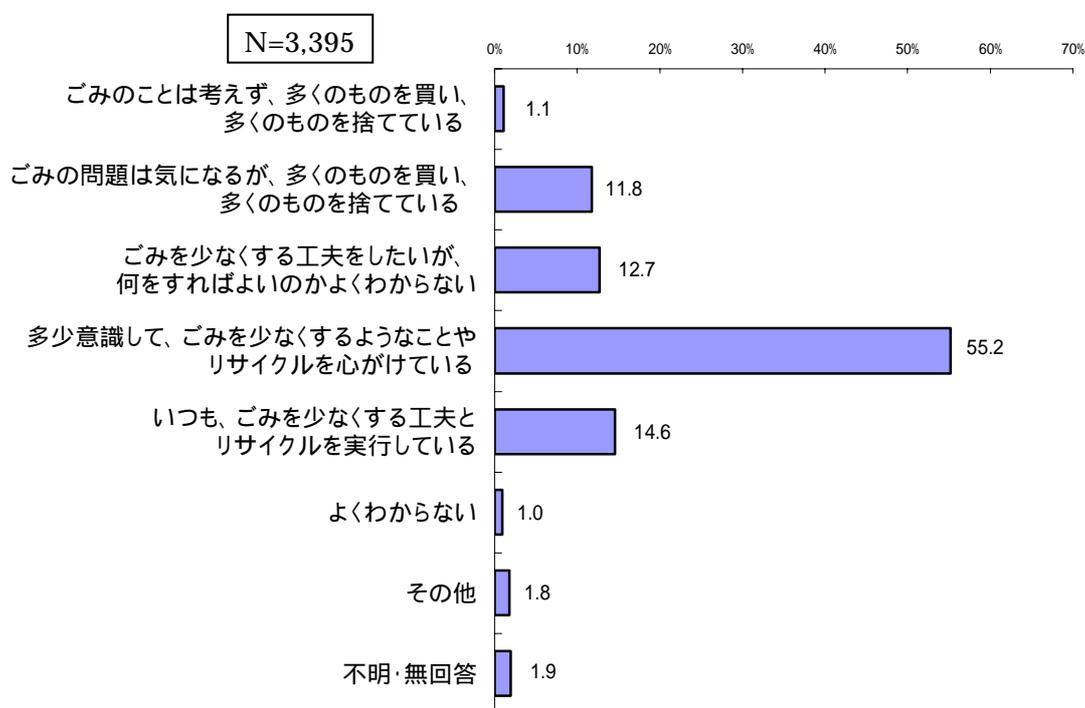
男性のすべての年代、女性では20歳代を除き、「使い捨ての商品が身の回りに多すぎる」が最も多く、女性の20歳代では「大量生産、大量消費、大量廃棄といった私たちの生活から、多くのごみが出されている」が73.2%と最も高くなっている。

(2) 暮らしの中のごみとの関わり

問15 あなたは、日頃の暮らしの中で、ごみとどのように関わっていますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

日頃の暮らしの中でのごみとの関わりについては、「多少意識して、ごみを少なくするようなことやりサイクルを心がけている」が55.2%

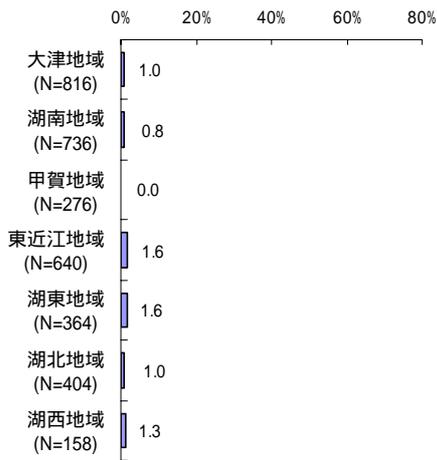
日頃の暮らしの中でのごみとの関わりについては、「多少意識して、ごみを少なくするようなことやりサイクルを心がけている」が55.2%と最も多く、次いで「いつも、ごみを少なくする工夫とリサイクルを実行している」(14.6%)、「ごみを少なくする工夫をしたいが、何をすればよいのかよくわからない」(12.7%)、「ごみの問題は気になるが、多くのものを買い、多くのものを捨てている」(11.8%)となっている。



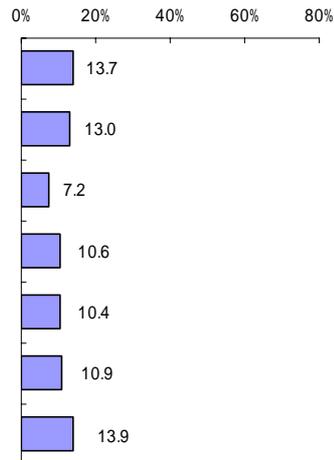
【地域別】

いずれの地域においても、「多少意識して、ごみを少なくするようなことやりサイクルを心がけている」が5割を超え、最も多くなっている。また、「ごみの問題は気になるが、多くのものを買い、多くのものを捨てている」では、甲賀地域が7.2%と最も低くなっている。

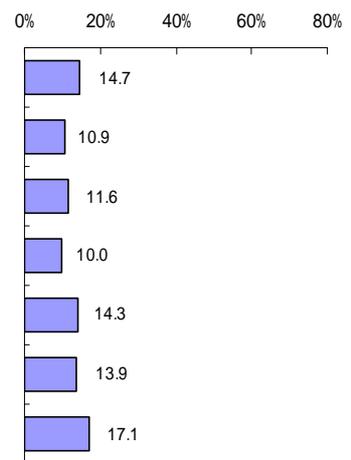
ごみのことは考えず、多くのものを買
い、多くのものを捨てている



ごみの問題は気になるが、
多くのものを買、多くのもの
を捨てている



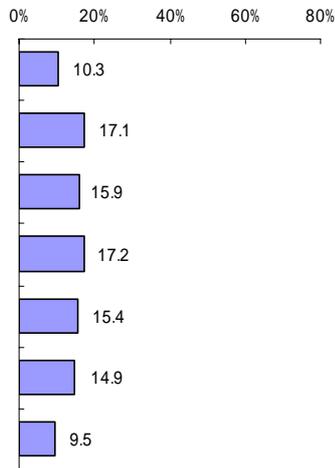
ごみを少なくする工夫をした
いが、何をすればよいのか
よくわからない



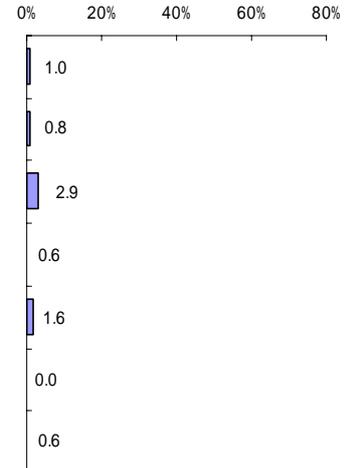
多少意識して、ごみを少なくするよ
うなことやりサイクルを
心がけている



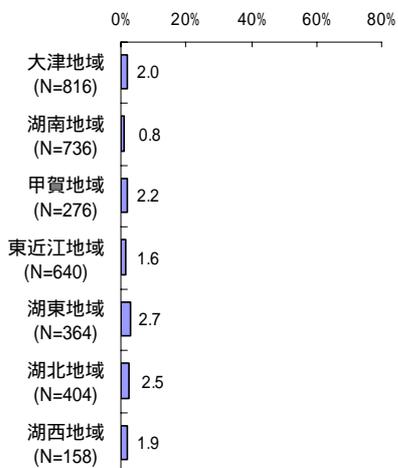
いつも、ごみを少なくする工
夫とリサイクルを実行してい
る



よくわからない

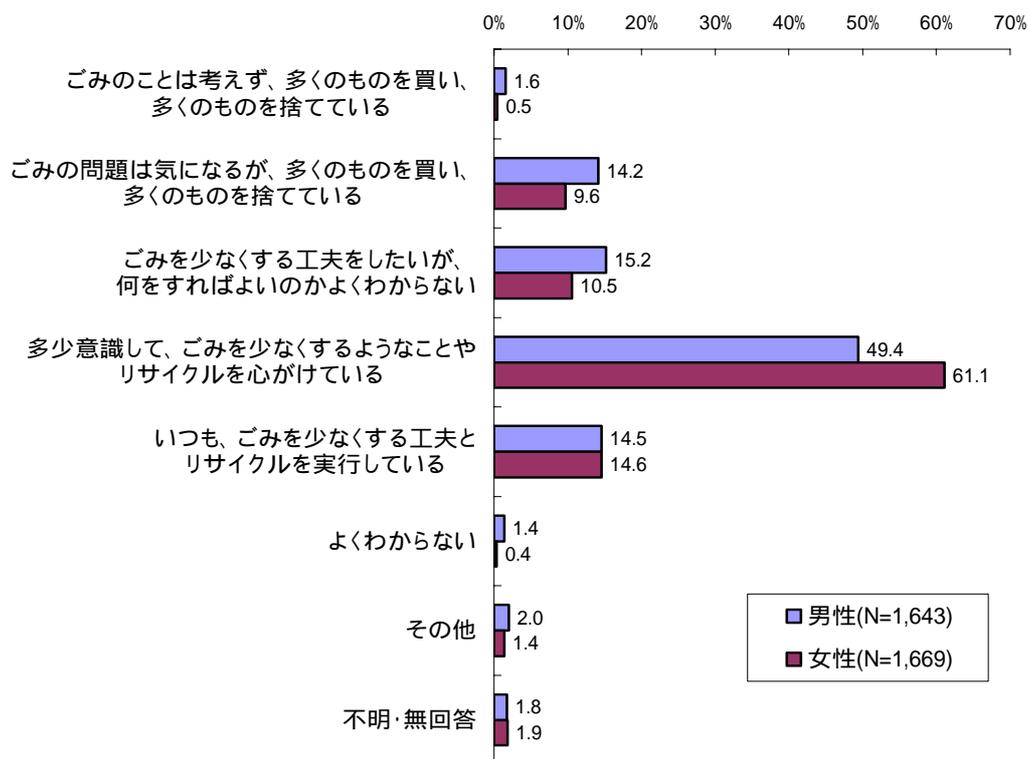


その他



【性別】

男女ともに「多少意識して、ごみを少なくするようなことやリサイクルを心がけている」が最も多く、男性が49.4%、女性が61.1%となっており、女性のほうが11.7ポイント上回っている。



【性・年代別】

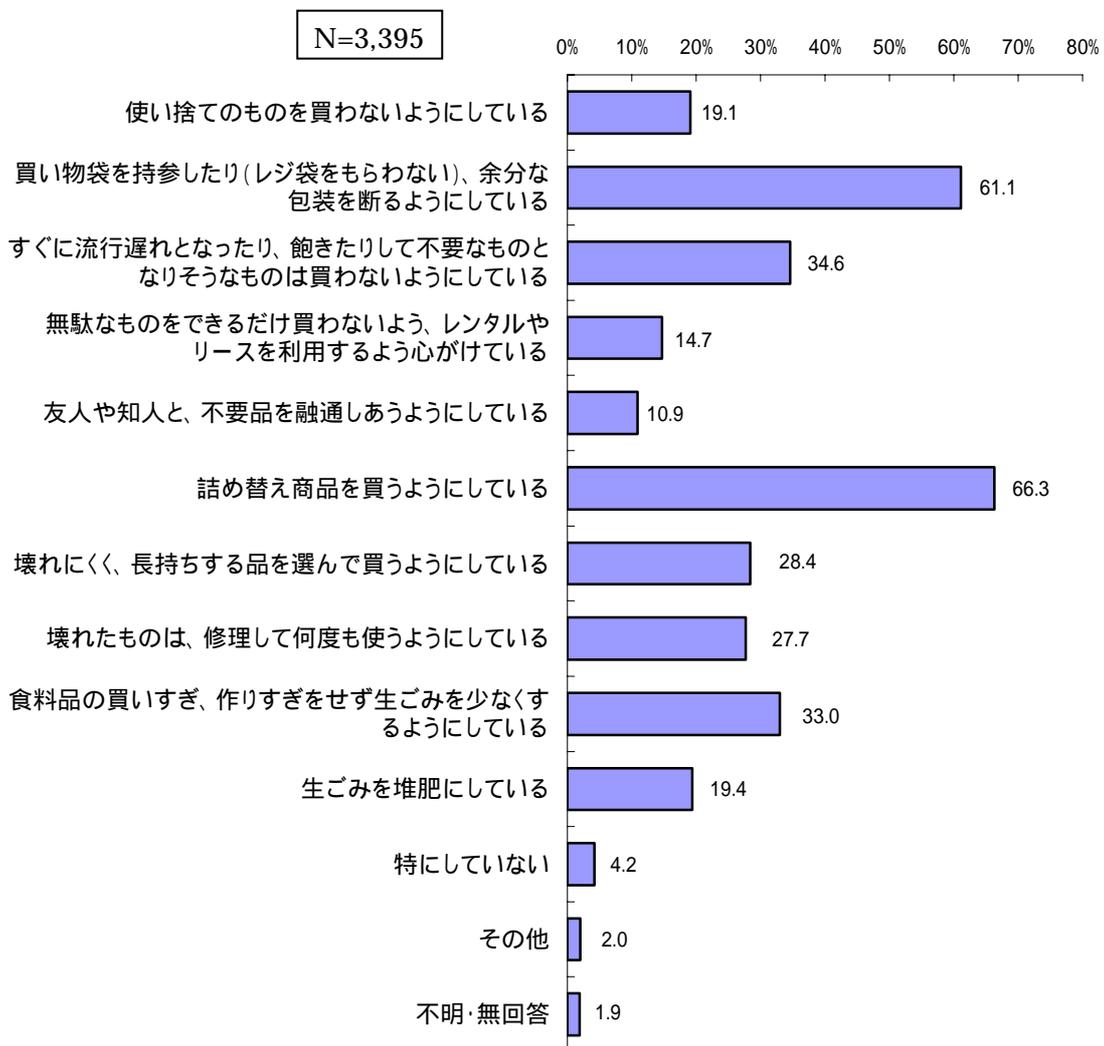
男女ともすべての年代において「多少意識して、ごみを少なくするようなことやリサイクルを心がけている」が最も多くなっている。また「いつもごみを少なくする工夫とリサイクルを実行している」では、男女ともに年代が高くなるにつれ、割合も高くなる傾向となっている。

(3) ごみを少なくするための心がけ

問 16 あなたが、日頃の暮らしの中で、ごみを少なくするために心がけていることは何ですか。
(はいくつでも)

日頃の暮らしの中で、ゴミを少なくするために心がけていることは「詰め替え商品を買うようにしている」が66.3%

日頃ごみ削減のために心がけていることは、「詰め替え商品を買うようにしている」が最も多く66.3%、次いで「買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)余分な包装を断るようになっている」が61.1%となっている。以下、「すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようになっている」が34.6%、「食料品の買いすぎ、作りすぎをせず生ごみを少なくするようになっている」が33.0%と続いている。



【地域別】

いずれの地域においても、「詰め替え商品を買うようにしている」と「買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)余分な包装を断るようになっている」が1位もしくは2位となっている。甲賀地域では、「生ごみを堆肥にしている」が3位となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
大津地域 (N=816)	詰め替え商品を買うようにしている	買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)、余分な包装を断るようになっている	すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようにしている	食料品の買いすぎ、作りすぎをせき、生ごみを少なくするようにしている	壊れにくく、長持ちする品を選んで買うようにしている
	68.4%	61.3%	38.7%	33.6%	31.4%
湖南地域 (N=736)	詰め替え商品を買うようにしている	買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)、余分な包装を断るようになっている	すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようにしている	食料品の買いすぎ、作りすぎをせき、生ごみを少なくするようにしている	壊れにくく、長持ちする品を選んで買うようにしている
	69.6%	64.9%	35.3%	34.5%	30.4%
甲賀地域 (N=276)	詰め替え商品を買うようにしている	買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)、余分な包装を断るようになっている	生ごみを堆肥にしている	食料品の買いすぎ、作りすぎをせき、生ごみを少なくするようにしている	すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようにしている
	66.7%	53.6%	41.3%	38.4%	37.0%
東近江地域 (N=640)	詰め替え商品を買うようにしている	買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)、余分な包装を断るようになっている	食料品の買いすぎ、作りすぎをせき、生ごみを少なくするようにしている	すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようにしている	壊れたものは、修理して何度も使うようにしている
	65.9%	61.9%	34.4%	32.8%	31.3%
湖東地域 (N=364)	買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)、余分な包装を断るようになっている	詰め替え商品を買うようにしている	すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようにしている	壊れたものは、修理して何度も使うようにしている	食料品の買いすぎ、作りすぎをせき、生ごみを少なくするようにしている
	59.9%	57.7%	33.0%	30.8%	29.1%
湖北地域 (N=404)	詰め替え商品を買うようにしている	買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)、余分な包装を断るようになっている	すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようにしている	食料品の買いすぎ、作りすぎをせき、生ごみを少なくするようにしている	壊れにくく、長持ちする品を選んで買うようにしている
	64.9%	58.9%	30.2%	29.2%	28.2%
湖西地域 (N=158)	詰め替え商品を買うようにしている	買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)、余分な包装を断るようになっている	すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようにしている	食料品の買いすぎ、作りすぎをせき、生ごみを少なくするようにしている	壊れたものは、修理して何度も使うようにしている
	65.2%	60.1%	29.1%	27.2%	22.8%

【性別】

男女とも3位以外は全て同じ結果となっている。1位、2位とも男性より女性のほうが、それぞれ24.8ポイント、24.7ポイント高くなっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (N=1,643)	詰め替え商品を買うようにしている	買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)、余分な包装を断るようになっている	壊れたものは、修理して何度も使うようにしている	すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようにしている	壊れにくく、長持ちする品を選んで買うようにしている
	54.0%	48.6%	31.3%	30.1%	28.4%
女性 (N=1,669)	詰め替え商品を買うようにしている	買い物袋を持参したり(レジ袋をもらわない)、余分な包装を断るようになっている	食料品の買いすぎ、作りすぎをせき、生ごみを少なくするようにしている	すぐに流行遅れとなったり、飽きたりして不要なものとなりそうなものは買わないようにしている	壊れにくく、長持ちする品を選んで買うようにしている
	78.8%	73.3%	41.4%	38.8%	28.5%

【性・年代別】

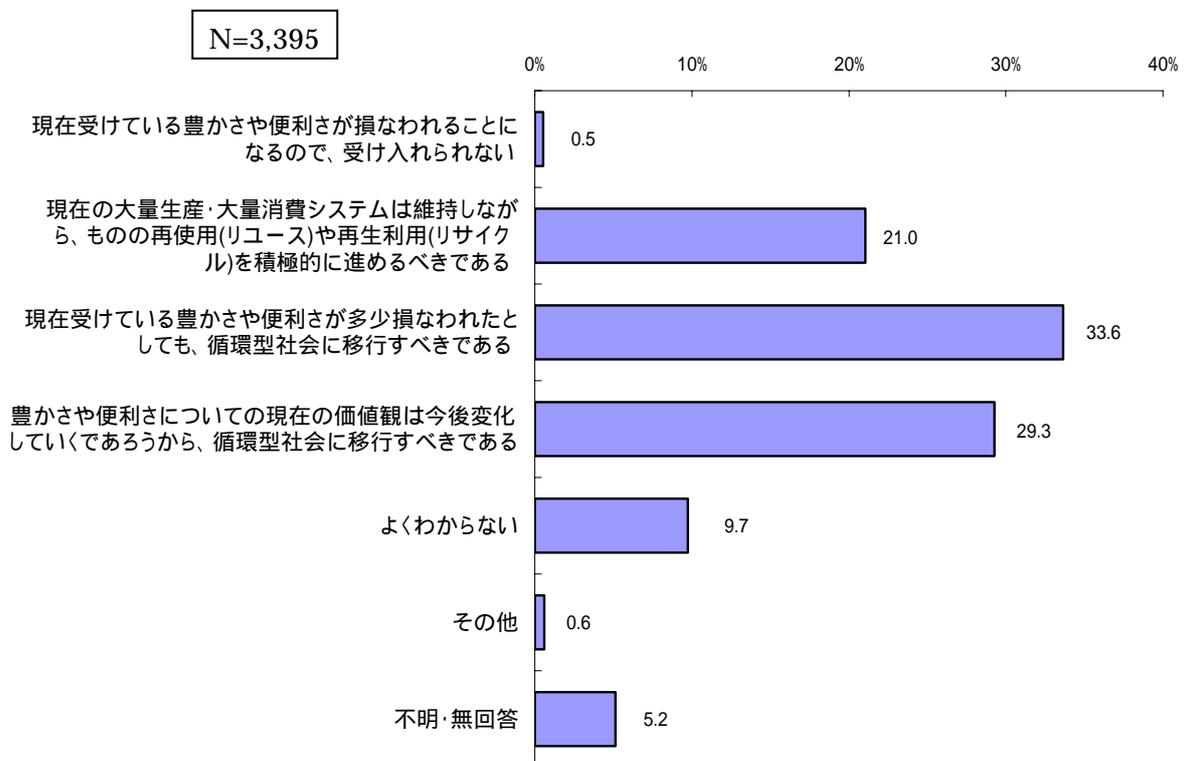
男性および女性の20～60歳代では「詰め替えの商品を買うようにしている」が、男性および女性の70歳以上では「買い物袋を持参したり（レジ袋をもらわない）余分な包装を断るようにしている」が最も多くなっている。

（４）「循環型社会」構築についての考え

問 17 「循環型社会」とは、環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、それを有効に使うことによって廃棄されるものを最小限に抑える社会をいいます。これまでの大量に生産し、消費、廃棄する社会を見直し、「循環型社会」を構築することについて、あなたの考えに近いものを、この中から1つ選んでください。

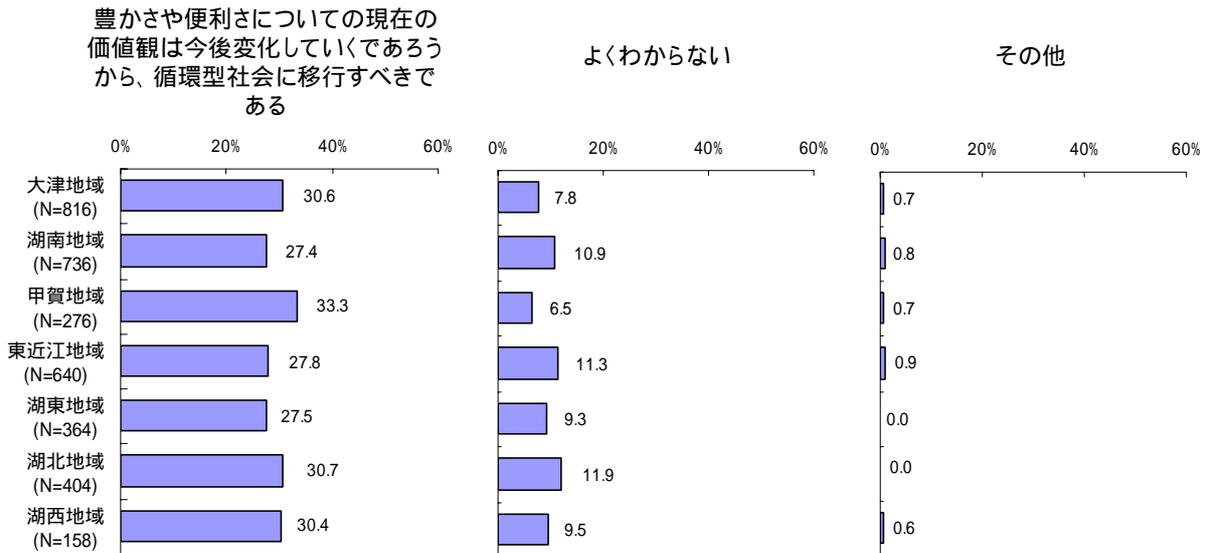
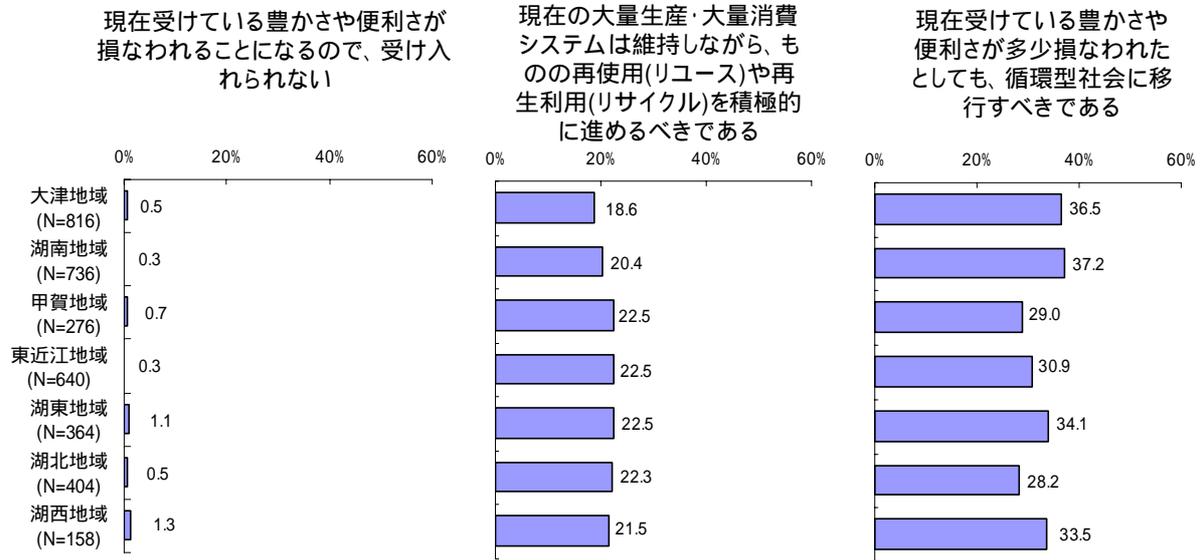
循環型社会の構築については、「現在受けている豊かさや便利さが多少損なわれたとしても、循環型社会に移行すべきである」が33.6%

循環型社会の構築については、「現在受けている豊かさや便利さが多少損なわれたとしても、循環型社会に移行すべきである」が最も多く33.6%、次いで「豊かさや便利さについての現在の価値観は今後変化していくであろうから、循環型社会に移行すべきである」が29.3%、「現在の大量生産・大量消費システムは維持しながら、ものの再使用(リユース)や再生利用(リサイクル)を積極的に進めるべきである」が21.0%となっている。



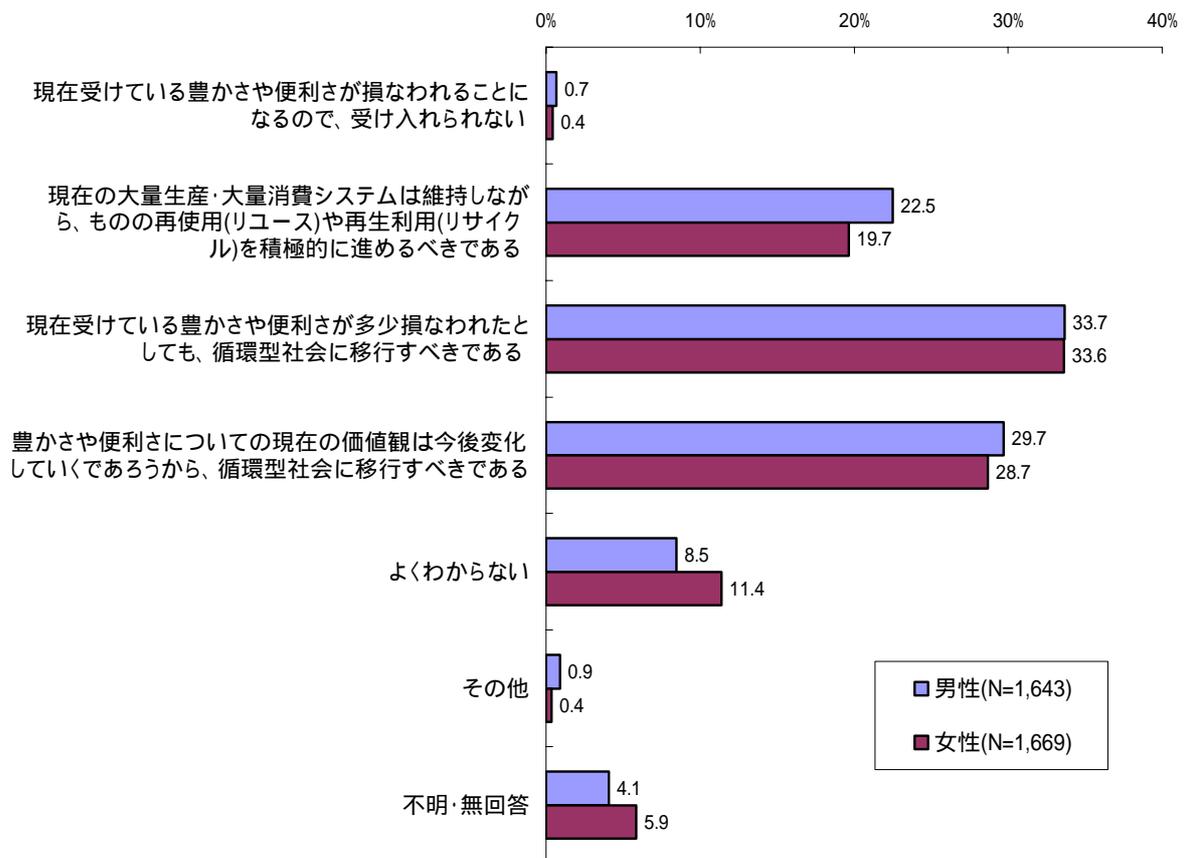
【地域別】

甲賀・湖北地域では、「豊かさや便利さについての現在の価値観は今後変化していくであろうから、循環型社会に移行すべきである」が最も多く、その他の地域では、「現在受けている豊かさや便利さが多少損なわれたとしても、循環型社会に移行すべきである」が最も多い。



【性別】

男女ともに「現在受けている豊かさや便利さが多少損なわれたとしても、循環型社会に移行すべきである」が最も多く、次いで「豊かさや便利さについての現在の価値観は今後変化していくであろうから、循環型社会に移行すべきである」となっている。



【性・年代別】

男性の20～30歳代、50歳代と女性の60歳代を除くすべての年代では「現在受けている豊かさや便利さが多少損なわれたとしても、循環型社会に移行すべきである」が最も多く、男性の40歳代、60歳以上と女性の60歳代では「豊かさや便利さについての現在の価値観は今後変化していくであろうから、循環型社会に移行すべきである」が最も多くなっている。